

(別紙2)

令和6年度上期「米子市美術館」モニタリング評価表〔令和7年1月〕

施設名	米子市美術館	
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	一般財団法人米子市文化財団
	所在地	米子市末広町293番地
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
選定方法	公募・ <u>非公募</u>	
施設の設置目的	美術に関する市民の知識及び教養の向上に資するため。	
主な実施事業	郷土にゆかりのある優れた作家の美術作品等及び近代以降の版画作品等収集、保管、研究及び展示。市展、県展、特別企画展、特別共催展、コレクション展（年間2回）、共催展、若手作家支援展、教育普及事業（ミュージアムスクール・年間4回）等	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認（60点）			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	協定書に定められた人員を配置し、管理体制も明確であった。また、マニュアル等も作成し、安全対策をはじめ、危機管理体制、態勢を整え利用者の安全確保に努めた。 資料等確認、立入検査
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	指定申請書に基づき、定期的に研修を受講していた。 資料等確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	特別共催展「佐藤健寿展」、特別企画展「米子の書」、共催展「AIR475」、コレクション企画展Ⅰ等を開催。ギャラリートーク等のイベントも開催し、積極的な広報活動を

			行い利用の拡大に努めた。 Instagram、X のアカウントの活用について、工夫が必要。 資料確認。
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※ 1	B	特別共催展、特別企画展での入場者数は前年と同水準であった。 台帳確認 補足資料 1
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	サポーター制度、委員会、アンケートを活用し要望を把握。適切に策を講じていた。 立入検査 資料等確認
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書に基づき、適切に行われていた。 台帳確認、立入調査
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	協定書及び覚書に基づき、適切に実施。日々の清掃に加え、定期的にワックス剥離塗布清掃を行い、館内の美化に努めた。 台帳確認、立入調査

(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書に基づき業務を適切に実施していた。 台帳確認、立入調査
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書及び覚書に基づき、適切に実施。空調の不具合修繕、展示室タイル補修などを必要に応じて行った。 台帳確認、立入調査

4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	事業計画書に沿って適切に行われた。 資料確認
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	情報公開の実施体制、管理体制を整備し、個人情報保護方針を作成し個人情報情報を慎重に取り扱っていた。 資料確認、立入調査
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	施設の現状を正確に把握した上で今後の事業を計画している。 資料確認
Ⅱ サービスの質の評価（25点）			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	各展覧会やミュージアムスクール等で利用者アンケートを実施。利用者からの否定的な意見はなかった。 資料等確認、立入調査
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	設備維持のための日常的な備品の点検、清掃や周囲の除草、草花の剪定等を適宜実施するなど、協定書に基づき業務を適切に実施している。 立入調査
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	サービス水準の向上策を基に、創意工夫のある内容であった。また、来館した未就学児等に対し、美術館での約束事を丁寧に伝え、親子連れへの配慮が行われた。利用者に沿った丁寧な接遇をしていた。 資料等確認、立入調査

4	自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	B	展覧会で「おやこでアートじかん」を設け、親子で楽しんで鑑賞できる時間帯を設定するなどし、創意工夫がみられた。 資料等確認
5	施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	特別共催展や特別企画展では、様々な関連イベントを企画する等、美術に対する市民の教養等の向上にも積極的に取り組んでいた。 資料等確認

Ⅲ サービスの安定性の評価（15点）

1	事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	事業収支は適切な水準であった。 補足資料2
2	経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	経営状況分析指標は適切であった。 補足資料3
3	団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4		

【総評（所管課評価）】 特別共催展「大広重展」をはじめ、市展、特別企画展「井田幸昌展」などすべての事業を開催。幅広い年齢層に来館頂けるよう、工夫して自主事業を行っていた。 おおむね円滑な管理運営が行われている。 利用者促進について、若年層に対して訴求力の高い SNS の活用方法について工夫をする必要がある。	合計点 (63) 点 / (95) 点 × 100 = (66) 平均点 (3.3) 点
--	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

※合計点は小数点第 1 位を四捨五入、平均点は小数点第 2 位を四捨五入とする。

美術館 上期

モニタリング期間

令和

6年

〔令和6年4～9月〕

〔令和5年4～9月〕

※ 1 利用状況

項目	本年度 〔令和6年4～9月〕 A	前年度 〔令和5年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
開館日数（注1）	160（131）	164（127）	-4 97.6（%）	
施設利用者数	32,750	32,453	297 100.9（%）	
施設稼働率（注2）	81.9 %	77.4 %	4.5 105.8（%）	
事業開催数	5	6	-1 83.3（%）	

（注1）（ ）の数字は展示日数

（注2）施設稼働率 展示日数／開館日数 により算出

※ 2 事業収支

（1）収 入

項目	本年度 〔令和6年4～9月〕 A	前年度 〔令和5年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
利用料収入	666,140	898,415	-232,275 74.1（%）	昨年より貸出期間の長い貸館が減少したため
指定管理料	30,134,000	28,968,000	1,166,000 104.0（%）	
事業収入	3,509,619	3,711,867	-202,248 94.6（%）	
補助金等	0	0	0（%）	
雑収入	36,775	102,220	-65,445 36.0（%）	昨年より図録の販売数が減少したため
負担金	0	0	0（%）	
合計	34,346,534	33,680,502	666,032 102.0（%）	

（2）支 出

項目	本年度 〔令和6年4～9月〕 A	前年度 〔令和5年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
人件費	13,766,207	14,997,649	-1,231,442 91.8（%）	
施設管理費	7,866,007	6,713,623	1,152,384 117.2（%）	
事業費	5,157,983	6,521,363	-1,363,380 79.1（%）	今年度は、共催展において開催負担金の支払いがなかったため
委託費	2,073,975	2,107,384	-33,409 98.4（%）	
合計	28,864,172	30,340,019	-1,475,847 95.1（%）	

※ 3 経営状況分析指標

項目	本年度 〔令和6年4～9月〕 A	前年度 〔令和5年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	備考
①事業収支	5,482,362	3,340,483	2,141,879 164.1（%）	今年度は、共催展において開催負担金の支払いがなかったため
②利用料金比率	1.9 %	2.7 %	-0.8 70.4（%）	昨年より貸出期間の長い貸館が減少したため
③人件費比率	47.7 %	49.4 %	-1.7 96.6（%）	
④外部委託費比率	7.2 %	6.9 %	0.3 104.3（%）	
⑤利用者当たり管理コスト	881.3	934.9	-53.6 94.3（%）	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	920.1	892.6	27.5 103.1（%）	

※ 4 団体等の経営状況

項 目	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	備 考
①自己資本比率	44.8 %	55.5 %	61.2 %	54.6 %	%	
②流動比率	196.3 %	257.0 %	312.3 %	247.8 %	%	
③固定長期適合率	12.6 %	10.9 %	10.5 %	9.5 %	%	
④総資産経常利益率	-8.1 %	8.8 %	3.9 %	7.3 %	%	
評 価	(以上の指標を参考に評価する。)					

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導

下期に報告

6 利用者アンケートの結果

下期に報告